

小学生(中学年)向け



『くよくよしてもしかたがない!』

ワンダ・ガアグ／再話・絵 小宮由／訳
瑞雲舎 ¥1,650 (税込)

子どものころに聞いた古い古い話。畑や牧場の仕事で嫌になった百姓のフリッツルは、家の中の仕事の方が楽だと思い、妻と仕事を取り換えた。ところが何一つうまくできない。妻が家に帰ると牝牛が屋根からぶら下がっていた。いったい何が?



『四角い空のむこうへ』

由美村嬉々／文 羽尻利門／絵
晶文社 ¥1,760 (税込)

筋肉の病気のため、人工呼吸器と車椅子で生活している中学生のあきら。特技はテレビの天気予報を見ること。両親はあきらの誕生日に、彼が寝ている居間に天窓を付けてくれた。天窓から空を見ながら、あきは気象予報士になる決心をする。



『世界ではじめての女性大統領のはなし』

ラウン・フリーゲンリング／作 朱位昌併／訳
平凡社 ¥2,090 (税込)

世界で一番男女間の平等が進んでいるアイスランドも、かつては女性への偏見があった。作家志望の少女のインタビューを通して、世界初の女性大統領となったヴィグディス・フィンボガドッティルの人生を、ユーモアあふれる絵とともに描く。



『飛べ! 山小屋ヘリコプター』

池田菜津美／文 星野秀樹／写真
新日本出版社 ¥2,860 (税込)

標高3,080メートルにある槍ヶ岳の山小屋には、夏から秋にかけて大勢の登山者がやって来る。荷物を運べる道はなく、必要な食べ物や燃料などは、ヘリコプターで運んでいる。山小屋の生活を支えるヘリコプターの活動を写真で紹介する。



『ねえねえ、なに見てる?』

ビクター・ベルモント／絵と文 金原瑞人／訳
河出書房新社 ¥1,793 (税込)

ほかの人と色の見え方が違うトーマス。食卓を囲む家族には、周りがどのように見えているのか想像すると…。まだ小さい弟にはなんでも大きく、科学者のママには科学的に見えているのかも。多様性と他者理解を描く、ラサリーリョ賞受賞作。



『はたらく中華料理店』

吉田亮人／写真 矢萩多聞／文
創元社 ¥2,420 (税込)

写真家の吉田亮人さんの両親が夫婦二人で営む中華料理店は、40年間多くのお客さんに何万皿もの料理を作ってきた。朝早くから仕込みや掃除をして、開店すると店の奥の厨房で次から次へと料理を作る。小さな中華料理店の一日を追う写真絵本。



『ひき石と24丁のとうふ』

大西暢夫／著
アリス館 ¥1,760 (税込)

岩手県 mountain 山奥で豆腐屋を営むミナさん。幼いころから目が不自由だが、90歳をこえても、一人でひき石(石臼)を回して大豆を挽き、薪で煮て、一日に24丁の豆腐を作る。手仕事で作る職人の感覚の鋭さや、日々の営みの尊さを伝える写真絵本。



『モモ 絵本版』

ミヒエリ・エンデ／文 シモーナ・チェッカルレッリ／絵 松永美穂／訳
光文社 ¥1,980 (税込)

町はずれにある野外劇場の廃墟に住んでいる小さな女の子、モモのところに、たくさんの人たちが会いに来る。それは、モモが「ほかの人の話を聞く」ことが誰よりも得意だったから。児童文学の名作ファンタジー『モモ』の第一部を絵本化。

★ その他のおすすめの本 ★

『あこがれの図書館』

パトリシア・ボラッコ／作 福本友美子／訳 さ・え・ら書房 ¥1,870 (税込)

『あの日のあなた』

中川なをみ／作 大野八生／絵 くもん出版 ¥1,650 (税込)

『すごいトイレのはなし』

佐藤満春／著 伊藤ハムスター、萩原まお／絵 Gakken ¥1,650 (税込)

『たい焼き総選挙』

新井けいこ／作 いちろう／絵 あかね書房 ¥1,430 (税込)

『たった2℃で…』

キム・ファン／文 チョン・ジンギョン／絵 童心社 ¥1,980 (税込)

『たまご』

ドーリング・キンダースリー社編集部／企画・編集 水島ばざい／訳 BL出版 ¥2,970 (税込)

『動物の義足やさん』

沢田俊子／文 講談社 ¥1,650 (税込)

『ともに生きる』

前川貴行／写真・文 あかね書房 ¥1,650 (税込)

『鳥がおしえてくれること』

鈴木まもる／作 あすなろ書房 ¥1,760 (税込)

『ぼくたちのことをわすれないで』

由美村嬉々／作 鈴木まもる／絵 佼成出版社 ¥1,650 (税込)

『まほうのマーマレード』

茂市久美子／作 ゆうこ／絵 あかね書房 ¥1,320 (税込)

『モジモジばあは、本のおいしゃさん』

仁科幸子／作 文溪堂 ¥1,540 (税込)